

氏名	仙波 千浩	学校名	栃木県 宇都宮市立泉が丘中学校
担当教科等	英語、道徳、学活	対象学年（人数）	2年4組（33名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2021年7月～2022年1月（10時間）		


【実践概要】


1. 実践する教科・領域：英語／学活／道徳		
2. 単元（活動）名：I can change the world!		
3. 授業テーマ（タイトル）と単元目標 授業テーマ：「主体性を育む国際理解教育～世界を変えられるのは私～」 単元目標： <ul style="list-style-type: none"> ・ ブラジル人学校の生徒との交流を通し、日本で生活する外国にルーツを持つ人について学ぶ。 ・ SDGsについて学び、世界で起きている問題に気づく。（知識・技能） ・ 話し合い活動を通じ、世界で起きている問題に対して自分なりの意見を持つ。（思考力・判断力・表現力） ・ 世界で起きている問題に対して、今自分自身にできることを考え、実行する。（学びに向かう力） 		
関連する学習指導要領上の目標： 外国語指導要領目標より 「(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な問題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。」 道徳内容指導要領項目より 「13 勤労 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。」 特別活動（学活）指導要領目標より 「(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。」		
4. 単元の評価規準	① 知識及び技能	SDGsについて学び、世界で起きている問題に気づくことができる。
	② 思考力、判断力、表現力等	話し合い活動を通じ、世界で起きている問題に対して自分なりの意見を持つことができる。
	③ 学びに向かう力、人間性等	世界で起きている問題に対して、今自分自身にできることを考え、実行することができる。
5. 単元設定の理由・単元の意義（児童/生徒観、指導観）	<p>【単元設定の理由】 この授業では、SDGs達成のために生徒たち自身が行動を起こすことを目標に単元を設定した。生徒たちの中でSDGsというと、世界のどこか遠いところで起きている問題ととらえがちだが、自分たちの生活と関係が深いことを学び、目の前にある問題に自分から取り組もうとする態度を育成したい。また、生徒たちが自分の行動目標を設定し、その取り組みを長期的に評価することで、持続可能で、主体的な取り組みをしたいと考えた。</p> <p>【単元の意義】 本単元では、教師の教師国内研修での体験をもとに世界の問題を体感的に学ばせ、生徒たちの「なんとかしたい」という気持ちを高めていく。そのあとで、自分たちの生活に目を向け、問題を自分事としてとらえることで生徒の主体性を高めていきたいと考えている。</p> <p>【児童／生徒観】 本学級は素直で優しい生徒が多い。また、外国籍の生徒が2名在籍している。これまでに、食をテーマに国際理解学習を行ってきた。生徒たちは異文化を肯定的に捉えており、「外国に行ってみたい!」という生徒が多い。その反面、世界の問題への当事者意識は低く、フードロスや環境問題について話をしても、自分には関係ないといった様子が見られる。</p>	


	<p>本単元では、生徒が世界の問題について体感的に学び、心を寄せることで生徒たちの「なんとかしたい」という気持ちを育みたい。また、SDGsと私たちの生活のつながりを知り、自分たちにできることを考えることで、生徒の主体性を育みたい。</p> <p>【指導観】 JICA教材やカードゲームなどを用い、生徒が世界の問題を共感的に捉えられるよう工夫したい。また、授業で感じたことをポートフォリオに残し、心情の変化を生徒自身も感じられるようにしたい。</p> <p>SDGsに関する行動設定をする場面では、実現可能なものかをよく考えさせ、生徒たち自身が長期的に取り組んでいくことを支援したい。また、振り返りカードを作成することで、モチベーションを保てるよう支援していく。</p>
--	--

6. 単元計画（全10時間）				
時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1	英語 「Let's Make Friends From Brazil!!」	ブラジル人学校の生徒たちへのレクリエーション作りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの学校のことを紹介するクイズ作りを行う。 ブラジル人学校の生徒たちへの質問を考える。 <p>Qual e a sua comida favorita?</p>  <p>【生徒が考えたクイズ】</p>	生徒用タブレット端末
2	英語 「My summer vacation」	ブラジル人学校の様子を見て、共通点や違いに気づく。	<ul style="list-style-type: none"> 教師自身の研修での経験を伝える。 写真や動画を見ながら生徒たちが話し合いを行う。  <p>【写真を見ている様子】</p>	JICA教師国内研修写真
3	学活 「ことばってどうして大切なのか？」	言葉が伝わらない、文字が読めないことの疑似体験を通してことばを学ぶ大切さや伝えようとする工夫を考える。	<ul style="list-style-type: none"> アクティビティを通して言葉が伝わらない、文字が読めないことの疑似体験をさせる。 やさしい日本語を紹介する。  <p>【挨拶の言葉が通じない疑似体験をしている様子】</p>	「世界がもし100人の村だったら」（開発教育協会DEAR）

4	学活 「学校に行けないとどうなるの？」	学校に行けないことが引き起こす問題を考え、教育の重要性を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に行けないことでのどのような問題につながるかを考える。 ・解決方法はあるか考える。  <p>【カードを並べかえている様子】</p>	「国際理解教育実践資料集」 (JICA)
5	学活 「どうして食べ物を大切にしているの？」	所得の差によって栄養が十分に摂取できないことを知り、自分たちにできることを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・所得の差による栄養状態の差を疑似体験する。 ・自分たちの生活の中でなぜ食べ物を大切にしなければならないか考える。  <p>【買い物カードに取り組んでいる様子】</p>	「買い物ゲーム」(JICA)
6	英語 「SDGsって何だろう？」	SDGsについて知り、自分たちが解決した方がいいと思う問題について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて説明をする。 ・新聞や写真を用いてその問題がどのSDGsに結び付くか考える。  <p>【SDGsカードを使っての話し合いの様子】</p>	動画「SDGsって何だろう？」(SDGs未来会議チャンネル) 新聞記事 写真 SDGsカード
7	学活 「ゴーゴールズで学ぼう」	SDGsについてすごろくを通して学び、そのゴールの意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・すごろくを行う。 ・クイズカードの中で気になったことを話し合う。  <p>【すごろくに取り組む様子】</p>	「ゴーゴールズ」(国連広報センター)

8 本時	英語 「What must I do?」	助動詞を用いて、SDGs達成のためにしなければならないことを伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの生活の中で SDGs 達成のためにできることを伝え合う。また、SDGs カードに書き込む。  <p>【記入した SDGs カード】</p>	写真 SDGsカード (JICA)
9 ※12月 実施予定	道徳 「栃木から世界を救った人」	地元栃木県でSDGs達成のために貢献する人がいることを知り、地域社会に積極的に関わろうとする心情を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> (有) ドンカメ小久保社長について学ぶ。 地域社会に貢献するためにはどのような思いを持つことが大切か気づかせる。 	小久保社長へのインタビュー
10 ※1月 実施予定	学活 「2-4 SDGs 会議」	SDGs達成のために学級でできることを考え、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> SDGs 達成のために学級で取り組みたいことを班ごとにプレゼンする。 	生徒用タブレット端末

7. 本時の展開 (8 時間目) 本時のねらい： SDGs達成のために自分が家庭でしなければならないことについて、助動詞を用いて伝え合うことができる。(思考・判断・表現)			
過程時間	教員の働きかけ・発問および学習活動・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (5分)	1. Unit4 "Homestay in the United States" の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> 本文既出の慎のホームステイについて、"We must save water."と言われたことを思い出させる。 教師の用意した写真を見て、思ったことを話し合う。 ※使用する写真に注意する。 既習の "I think ~." を使って話し合いができるようにする。 	パワーポイント
展開 (35分)	2. 写真を見て話し合う。  3. SDGs 達成のために家庭でできることを書く。		<ul style="list-style-type: none"> 助動詞の使い方を復習する。 ◎机間巡視をし、グループで協力して活動するよう声掛けをする。

<p>まとめ (5分)</p>	<p>4. 考えたことを SDGs カードに書く。</p>  <p>5. 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本文を基に、おおむね満足できる状況に達成できるようにする。 ◎必要に応じて個別に支援する。 <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを ECO ポイントカードに記入し、継続的に取り組んでいけるよう指導する。 	<p>SDGs カード (JICA)</p> <p>ECO ポイントカード</p> <p>振り返りシート (泉が丘パースポート)</p>
---------------------	---	--	---

8. 評価規準に基づく本時の評価方法

【おおむね満足できる状況】

基本表現を使って、SDGs 達成のために自分ができることを伝えることができる。

【十分満足できる状況】

基本表現を使って、SDGs 達成のために自分ができることを工夫して伝えることができる。

【おおむね満足できる状況に達していない生徒への手立て】

グループでの話し合いを支援し、適切な例示をする。

9. 学習方法及び外部との連携

- ・単元計画の9時間目では、教師国内研修で訪問したドンカメ小久保社長のインタビューを道徳の読み物教材【資料2】としてまとめ、授業を行う予定である。栃木県出身の人が世界で活躍しているということで国際交流を身近に感じてほしい。
- ・授業実践は全体を通して、生徒の参加型、体験型学習を意識して計画した。特に3～5時間目では、世界の様々な状況を疑似体験できるようなアクティビティを取り入れた。

10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組

- ・研修後、いただいた資料などを校内研修のコーナーに置き、興味のある先生に見てもらえるよう工夫した。
- ・8時間目の公開授業では、校内の先生にも声をかけ、自由に参観してもらえるよう周知した。参観した先生から授業の感想や助言をいただくことができた。
- ・国際理解の取組を行うにあたり、学級通信でどんな授業を行うのか伝えるようにした。また、授業を行った後にも学級通信を発行し、どんな内容で授業を行ったのかを伝え、写真や生徒の感想を入れて、家庭でも話題にしてもらえるようにした。
- ・授業実践は自分の担当するクラスでしか行えず、他学級や学年を巻き込むことが難しかった。

【自己評価】

<p>11. 苦労した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修への参加が決まったのが6月ごろだったので、4月当初に決められた年間指導計画を変更しなければならなかった。 ・夏休み明けはコロナの警戒レベルが上がり、参加型の学習が難しい時期があった。また、学校行事等と重なり、思った時期に授業が展開できなかった。 ・英語の授業の目標とうまく結びつけながら授業を考えていくことが難しかった。 ・異文化を否定したり、馬鹿にしたりしないような指導が難しかった。
<p>12. 改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験などの学校行事や委員会活動とも関連させて行えばよかった。 ・生徒自身が学習した成果を他学年や保護者に発信する場を設定したかった。(今年度はコロナの影響で授業参観が中止になってしまった。)

13. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国や異文化について知ることを、面白いと感じられる生徒が増えた。 ・ 自分の住む地域についてより関心を持つようになった。 ・ SDGsに興味を持ち、テレビや新聞からの情報を生徒同士で話題にする姿が増えた。
14. 学びの軌跡 (児童/生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	<p>(生徒の振り返りシートより)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SDGsは大きな目標だからあまりできないかと思ったけれど、意外と身近なことでできるとわかった。 ・ 今世界が解決できていないことを見て、それをみんなで考えていくことが大切なんだと思う。 ・ We must save everything!! ・ クラスで植物を育てられたらもっとみんなが自然に興味を持つと思う。 ・ パンの耳とか捨てられちゃうのを見るけど、売れると思うんだよなあ。 ・ 授業でいろいろ考えているけれども、直接何かできているわけじゃないから悔しい。 ・ 1人の行動が世界中の人に影響を与えてしまうと思った。 ・ 魚が好きだからビニール袋は使わない！魚のためになるから。 ・ 授業で学んだことをYouTubeで更に調べたら胸が苦しくなった…。 ・ 給食の残食をなくすことからなにかできないかと思った。 ・ 自分たちの当たり前が相手にとっては当たり前ではないこともあると思った。
15. 授業者による自由記述	<p>今年度の授業実践で私が工夫した点を紹介したい。</p> <p>① 汎用性のある授業作り 今年度は学校行事等に加え、コロナによる制限などなかなか授業が思うように進みにくい状況だった。そのため、すでにある指導計画にSDGsの要素や国際理解の観点を加えることを工夫した。そうすることで今年度限りではなく、継続的に実施できる授業になるようにした。</p> <p>② ジブングトとして捉えられる授業作り SDGsについていきなり投げかけても生徒たちにとって他人事になってしまうのではないかと考えた。そのため、そこに至るまでに様々な体験型のゲームを取り入れたり、身近なニュースを話題にしたりすることで、生徒たちの「なんとかしたい!」という思いを高められるよう工夫した。</p> <p>今回研修で校種の違う様々な先生と出会い、学んだことで視野が広がった。もっと様々な実践を学んでいきたいと感じた。これからも授業作りに励んでいきたい。</p> <p>今回ご指導いただきましたすべての皆様、貴重な機会をありがとうございました。</p>

参考資料：

- ・ JICA 教師国内研修撮影写真
- ・ 『ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら 第5版』特定非営利活動法人 開発教育協会 (DEAR)
- ・ 『国際理解教育実践事例集—世界を知ろう！考えよう！』JICA 地球ひろば
- ・ 『買い物ゲーム』JICA 地球ひろば
- ・ YouTube 動画「SDGsってなんだろう？」SDGs 未来会議チャンネル
- ・ 『ゴー・ゴールズ！すごろくでSDGsを学ぼう』国際連合広報センター

